



港区立南山幼稚園

Minato City, Nanzan kindergarten

12月園だより

令和元年11月28日
November, 28, 2019
園長 小久保 篤子
Principal
Tokuko Kokubo



「はい」と「いいえ」の二つの心

『はい』と言ったら ウソになってしまう

『いいえ』と言っても 本当ではない

『はい』と『いいえ』の間に 百万の虹色のこたえがある
(後略) 」

これは詩人の工藤直子さんの「ふたごの心」という詩の一部です。
人の繊細な心もちを表現した詩です。

3歳児保育室でのことです。子どもが床の絵の具の汚れを見つけ、乾いた雑巾を持ってきてゴシゴシと拭いていました。その姿を見て思わず「雑巾で拭いているのね」「よく気が付いたね」と感心していると「もう少し濡らす」と言って、雑巾を濡らして拭き始めました。水分を含ませた雑巾の方が汚れが落ちると予想した行動です。3歳児でも、このような生活習慣が身につけてきています。園だけでなく家庭でも掃除や手伝いをしているのではないかと推察します。

私が「〇ちゃんは、着替えやお弁当の用意も自分でしているし、お掃除もして…もうりんご組じゃなくてばら組だね」と言うと、周りの子どもたちもすぐに「見て、見て!」「私もできるよ」と自慢げに、3歳児らしいアピールが始まりました。「自分でできる」ことが誇らしい姿、これぞ「成長の姿」と言えます。

年の瀬は、家族で我が子の成長や、来る年の夢や希望を語る機会もあるでしょう。年が明けると、いよいよさくら組は小学校入学、ばら組、りんご組は進級という節目を迎えます。

「大きい組になりたいですか」と尋ねたとき、子どもたちの多くは手をあげて「はい」でした。でもまだ甘えていたいという気持ちなど様々あるのもまた「はい」です。「はい」と自信をもって入学、進級できるように、ぐっと待って自分でやろうとしている姿を見守り、自ら伸びようとする力を信じ、支えていきましょう。

今年一年、保護者の皆様、地域の皆様にとくさんのご協力を賜り、ありがとうございました。よいお年をお迎えください。

友達との遊びが楽しくなってきたりんご組。



ごっこ遊びで大活躍のポイントカード。さくら組からもらって、嬉しそうに見つめる二人。



さくら組がつくった「ハッピーランド」で3学年が楽しく遊びます。



お楽しみ会の準備も着々と。



